

# ETG ニュースレター

2019年1月 | #30



**EtherCAT**<sup>®</sup>  
Technology Group

## 目次

- 1 採用ベンダー数
- 2 イベント情報
- 3 組織
- 4 WEBサイト
- 5 イベントスケジュール
- 6 新メンバー

## 詳細情報

[www.ethercat.org](http://www.ethercat.org)

## ごあいさつ

## ETG メンバーの皆さまへ

2003年、イーサネットフィールドバスとして EtherCAT は業界において新参者でした。その時点で私たちがもっていたのは、確かな革新的なテクノロジーのみでした。

当時の私たちが行ったことはある一部のテクノロジーの“革命”と称されました。ETG を立ち上げたとき、その規約は類をみない珍しいものでした。私達はこのグループをとってもオープンな存在と位置づけ、開発サポートを無償で提供してきました。グループの組織体制は迅速な結果を見出せるように構成されました。そしてその結果、15年後の現在、ETG は 65 カ国、5,000 社を超えるメンバーを擁する巨大組織へと成長をとげ、その会員数の増加傾向はしばらく続く見通しです。

ETG は、初期の段階から多くの技術作業部会を発足し、各部会は現在も積極的に活動を継続し非常に大きな役割を果たしています。そして各部会のメンバーは活動そのものを今でも本当に楽しんで活動しているのです。私たちワーキンググループや ETG オフィスは、人々にとってシンプルでわかりやすいプロセスや作業を構築することを絶えず追求しています。エンジニアはこの形式を好みます。そしてさらに、技術諮問委員会は EtherCAT が着実に安定していることを確信しており、揺らぎない事実です。これからさらなるチャレンジが予定されています。一次の 15 年の成功が楽しみです。




## 仕様

## ETG がメーカー非依存な診断インタフェースを規定

EtherCAT Technology Group は新しくマスターメーカーに依存しない診断インタフェースを規定しました。サードパーティのツールを使用して EtherCAT ネットワークの診断情報にアクセスできるようになります。これはソフトウェアベースのインタフェースであり、あらゆるマスターメーカーのコントローラーに実装できる、マスターやネットワーク診断ツールメーカーの両者にとって興味深いツールです。

診断機能は現在のフィールドバスシステムで最も重要な機能の一つです。EtherCAT はハードウェアとソフトウェアレベルの両面で広範囲の診断情報を提供します。極めて優れた EtherCAT 診断機能は発生したエラーを検出するだけでなく、その発生箇所を正確に特定できます。これはフレームのビットエラーをはじめとしてコネクタの脱落などの問題にも対応できます。EtherCAT ネットワーク内の全デバイスは各種エラーカウンターをサポートしています。この機能によってユーザー、装置メーカーやシステムインテグレーターは EtherCAT ネットワークの堅牢性を維持でき、その結果、装置のダウンタイムを最小化します。

さらに、診断ルーチンは通信品質のテストを行い、スレーブの内部エラー、ケーブル誤配線、ケーブル損傷や ESC の障害なども簡単に検出できます。ETG はこのユーザーフレンドリーかつメーカー非依存の診断インタフェー

スあらゆるマスター実装とサードパーティ診断ツールの組み合わせで機能するように仕様を設計しました。EtherCAT マスターは一般的にソフトウェアベースであり、ハードウェア変更を行うことなく診断インタフェースを追加できます。インタフェース設計は小さなソフトウェアサイズで簡単に実装でき、メモリーサイズの小さな組込デバイスにも最適です。

標準イーサネットインタフェースを介して EtherCAT ネットワーク内のハードウェアおよびソフトウェア診断情報にアクセスできます。この新しく仕様化したインタフェースを介して得られる情報により診断ツールや HMI は EtherCAT ネットワークの現在のトポロジー情報を取得し、設定上の構成情報と比較したり、ネットワーク切断箇所や通信障害、さらに予期せぬスレーブの状態変更を検出したりできます。

仕様書 ETG.1510 “Profile for Master Diagnosis Interface”(マスタ診断インタフェース用プロファイル)は EtherCAT マスタクラス仕様書を強化し、“Modular Device Profile”(モジュラデバイスプロファイル)仕様書で定義されている EtherCAT マスタオブジェクトディクショナリを拡張します。同様にアクセスメカニズムとして既存のメールボックスゲートウェイ機能を使用します。既存の仕様に基づいた機能定義であり、この新しいプロファイルは簡単に実装できます。

## EtherCAT 採用ベンダー数：

EtherCAT はワールドワイドでさまざまな市場で広く普及しています。

175 EtherCAT Drive ベンダー

218 EtherCAT Master ベンダー

+ 7\*

118 EtherCAT I/O ベンダー

\*上記は前回のニュースレターで発表した内容からの比較です

## 数のまとめ (Vol. 6)

私たちは、65 カ国、6 大陸から 5100 社以上のメンバーを擁しています。EtherCAT は 35 種類の RTOS で実装されており、公式の EtherCAT 製品ガイドには 1000 以上の製品が登録されています。

Safety over EtherCAT ベンダーは 33 種類でセンサー関連メーカーは 55 種類です。

2018 年には、ETG は 13 の展示会場に出展し、EtherCAT ロードショーは 18 カ国 37 都市で開催しました。2018 年には年間 500 社以上の新メンバーが加入しました。

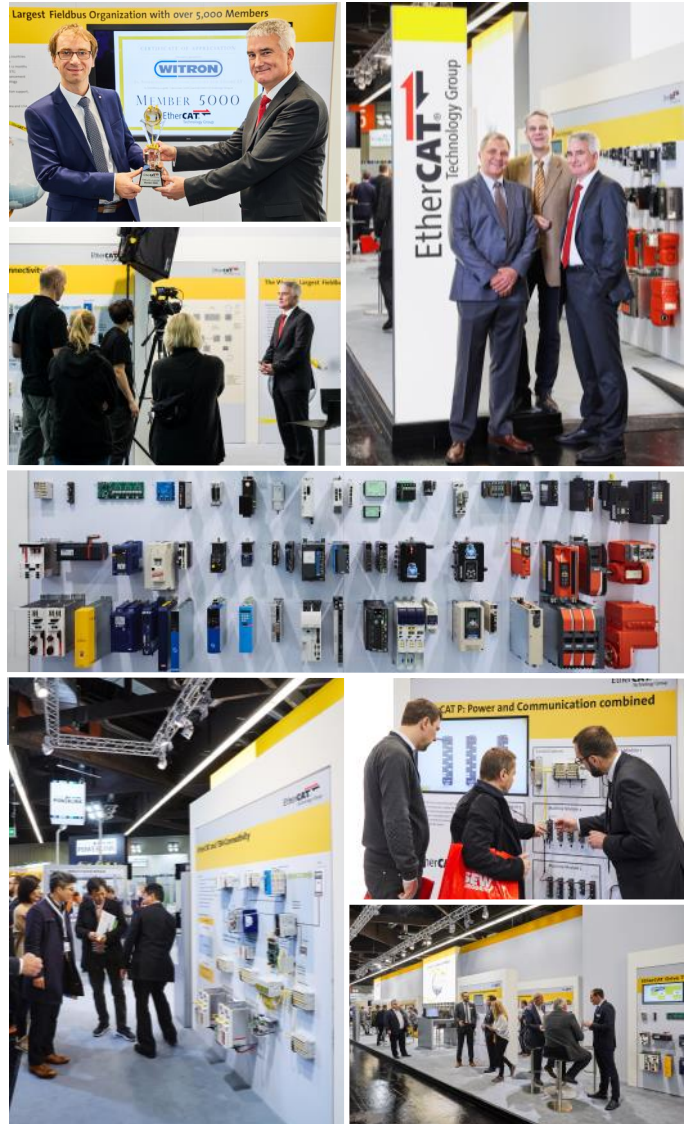
## SPS IPC ドライブ2018 ETG ブース

ドイツのニュルンベルグで開催された今年の SPS IPC ドライブは ETG にとって 2 つの節目を迎えました。ちょうど 15 年前の 2003 年に私たちの組織は創設メンバー 33 人で活動を開始しました。そして今年、ドイツの物流企業 WITRON 社が記念すべき 5000 社目のメンバーとなりました。ETG ブースでは、制御システム、ドライブ技術、I/O システムとゲートウェイ、センサーとアクチュエータ、開発製品、Safety over EtherCAT、EtherCAT P 製品など全体で、500 を超える EtherCAT ソリューションが展示されました。今回の出展のハイライトとして、メーカー非依存の診断インターフェースのデモンストレーションを行いました。

さらに、EtherCAT と TSN、Safety over EtherCAT と EtherCAT P のライブデモも沢山の来場者を魅了しました。ETG ブースに出展したすべての共同出展者に心から感謝します。

SPS IPC ドライブで私たちのブースに参加できなかったすべての方のために、多くの製品とデモは HANNOVER MESSE 2019 年 4 月 1 日から 5 日にかけてブース No.9-D1 で再び展示します

ETG ジョイントブース 2018 協賛出展社:



## EtherCAT ジョイントブース@ HANNOVER MESSE 2019

ETG ブースでは、過去に好評を得たマルチベンダーの製品デモ、インタラクティブ通信、EtherCAT の優れた機能を紹介いたします。そしてそのライブデモは必見です。HANNOVER MESSE 2019 では、私たちの存在感をさらに高め、魅力的なブースを企画します。

協賛出展することで、世界最大のフィールドバス組織のブースの盛況感を体感いただけます。そして自社の EtherCAT 製品、サービスの認知度を高めます。最小限の労力で最大のコスト効果を実感してください。ETG のエンジニアたちとともに EtherCAT に関する情報交換など来場者との直接のコミュニケーションも可能です。

すでに 58 社から 500 種の製品が展示される予定です。まだ登録は受付可能です。是非 hall 9-D18 の ETG ブースに出展しましょう。

展示会：

**HANNOVER MESSE 2019**

(ハノーバー、ドイツ)

日程：2019 年 4 月 1 日から 5 日

申込締切：2019 年 1 月 18 日

出展費用：€1,800 (従業員数 20 名以下の企業の出展費用：€1,200)

詳細はこちらをご覧ください：

[ETG Joint Booth Participation Offer & Registration Form](#)

協賛出展募集中！  
登録締切：1月18日

出展のメリットは？  
コスト効果 - 世界的に有名な展示会で多くの来場者が注目しています！  
... 詳細は [こちら](#)！

## Dmitry Dzilno 氏をETG理事会メンバに選出

EtherCAT Technology Group (ETG) は理事会の新メンバーを迎えることになりました。ドイツニュルンベルクの SPS IPC ドライブ 2018 期間中に ETG メンバー企業による総会において Applied Materials 社の Dmitry A. Dzilno 氏を選出しました。Dzilno 氏は 2005 年から ETG 理事会メンバーであった Schuler グループの Erich Hutflesz 氏の後任となります。

SPS IPC ドライブ 2018 の期間中に ETG はメンバーシップアッセンブリにおいて理事会メンバー選出を行いました。Erich Hutflesz 氏は ETG 理事会メンバーとして 13 年間つとめ、その間に ETG はメンバー数 241 社から 5,000 社以上を擁するまで成長しました。この理事会では Erich Hutflesz 氏の長年の ETG に対する貢献に感謝の意を表しました。

Applied Materials (AMAT) 社の Dmitry A. Dzilno 氏は Hutflesz 氏の後任として理事会メンバーに選出されました。当時プラットフォームエンジニアリング制御技術部長であった Dzilno 氏は EtherCAT が半導体業界にもたらすエキサイティングな可能性に非常に早い時期から気づき、AMAT を 2003 年の ETG の創立メンバとしました。その後 Dzilno 氏は EtherCAT が半導体チップ製造においてリーディングフィールドバスとなるように尽力してきました。彼は現在マネージングディレクタ兼技術スタッフのシニアプリンシパルメンバとして ALD 事業部の

エンジニアリングのトップです。Pforzheim University of Applied Sciences の工学部教授である Dr. Peter Heidrich 氏と ETG エグゼクティブディレクタである Martin Rostan が本総会中に理事会で現職を引き続き行うことが承認されました。プレスリリース：( [EN](#) | [DE](#) | [CN](#) )



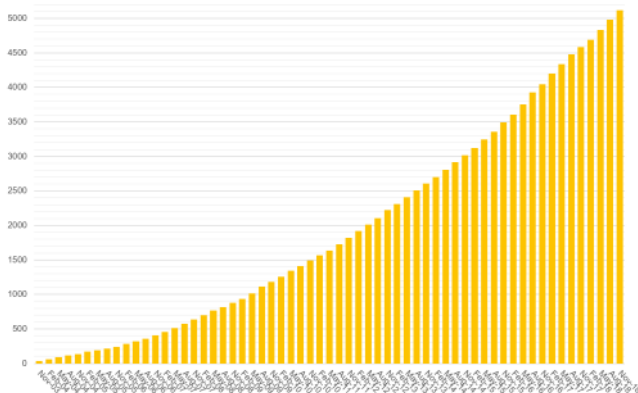
## メンバー数

ETG は 2019 年 1 月初旬、6 大陸 65 カ国 5,175 社のメンバーで構成されています。ETG は世界最大のグローバルで活躍するフィールドバス団体です。

ヨーロッパでの着実な成長と、アジアとアメリカからの新しいメンバーがさらに増加しています。

最新のメンバーリストはこちらです：

[www.ethercat.org/members](http://www.ethercat.org/members)



## WITRON 社を5,000番目のメンバーとして歓迎

WITRON Logistics + Informatics GmbH 社を ETG の 5000 番目のメンバとして歓迎

5000 社目が入会を記念する授賞式が SPS IPC ドライブ 2018 会期中に行われ WITRON 社を代表して PLC 事業部の Josef Uschold 氏が受賞しました。WITRON 社はバイエルン州本社をおきロジスティクスおよびマテリアルフローシステムの開発・生産の専門企業です。1971 年の創立以来、WITRON 社は物流アプリケーションで使用される保管技術およびピッキングシステムの構築を実現および運用において世界のマーケットリーダーとしてのポジションを確立しました。

プレスリリース：( [EN](#) | [DE](#) | [CN](#) )



## EtherCAT 製品ガイド登録件数 1,000 製品に到達

EtherCAT 製品ガイドには、多くの EtherCAT 製品が登録されています。今日の時点で、ETG メンバー企業から 1,000 を超える製品とサービスを掲載しています。

このガイドには、ドライブ、I/O システム、センサー、バルブ、ゲートウェイ、インターフェースなどのスレーブデバイス、PLC、IPC、PAC、エンベデッド、モーション、テストおよび計測システムなどのマスターシステム、ならびに機能安全および EtherCAT P 製品が含まれます。

多くのエントリーがシリーズ製品を含み、そしてまだ多数の未登録製品があることを鑑みると EtherCAT 製品の総数はさらに多数存在します。

“製品ガイドのエントリー数は、EtherCAT 技術が広く受け入れられていることを示しています”と ETG テクニカルマーケティングの Oliver Fels 氏は述べています。

メンバー企業は各社の EtherCAT 製品またはサービスを無料で登録できます。製品ガイドの申込フォームにご記入の上こちらに送付してください。 [info@ethercat.org](mailto:info@ethercat.org)

今すぐ登録してみましょう!

製品ガイド登録フォームはこちら [\(EN | DE | CN | JP\)](#)

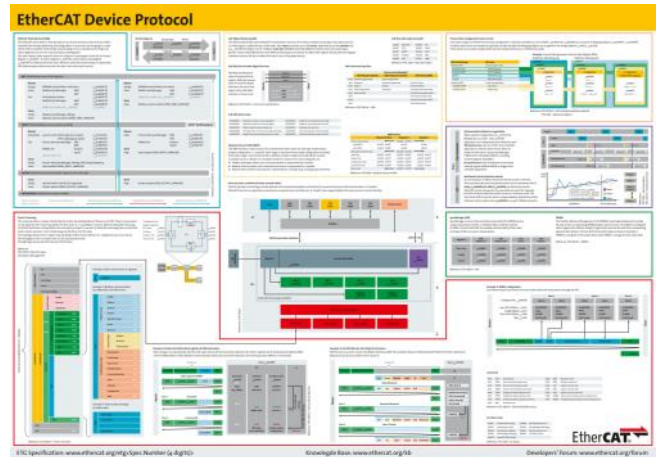
EtherCAT 製品ガイドについて: [www.ethercat.org/products](http://www.ethercat.org/products)

## EtherCAT Device Protocol (EDP) ポスター登場

EtherCAT device protocol が ETG ホームページで発表されました。HANNOVER MESSE の ETG ブースにおいても配布を予定しています。このポスターではマスター・スレーブシステム内のフィールドレベルの通信原理である EtherCAT Device Protocol を説明しています。また、EtherCAT の原理、フレーム構造、および EtherCAT スレーブコントローラ (ESC) における処理について解説します。論理 ESC ユニットに関して、使用されているレジスタおよびオブジェクトに関する詳細情報を紹介します。

全体の構成と概要を示し、関連するそれぞれの仕様や技術情報へのアクセスを記すなど、開発エンジニアのサポートをめざします。

ポスターの PDF ダウンロードはこちら: [here](#).



## ETG 公式ホームページ イタリア語版とスペイン語版公開



ETG 公式ホームページ [www.ethercat.org](http://www.ethercat.org) にイタリア語版とスペイン語版が追加されました。これで ETG のホームページは 6 か国語で閲覧が可能となりました。

また同時に EtherCAT ブローシャーにも反映され、ブローシャーは現在、英語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、中国語、日本語、そして韓国語版がホームページより入手可能です。

さらにフランス語版が 2019 年にリリース予定です。

## 産業用イーサネットセミナースケジュール 2019年度上期

ETG は、マレーシアを皮切りに世界中に産業用イーサネットセミナーシリーズの開催を企画しています。今後の開催予定も近日中に発表します。



マレーシア: 11.03 - 13.03

- ジョホールバル
- ペナン

協賛出展社は募集中です。セミナー参加費用は無料です。是非この機会に EtherCAT 技術を学習してください。

## トレーニング、ワークショップ

2019年度上期スケジュール



EtherCAT 採用セミナー

[詳細](#)

京都, 日本, 01.02.



産業オープンネットワークセミナー

[詳細](#)

熊本 & 長崎, 日本, 14.02. - 15.02.



EtherCAT 技術トレーニングクラス

[詳細](#)

ロンナウム (フランクフルト), ドイツ, 09.04.



Safety over EtherCAT セミナー

[詳細](#)

ロンナウム (フランクフルト), ドイツ, 09.04.



EtherCAT 開発サポートセミナー

[詳細](#)

京都, 日本, 24.05.

今後のスケジュール、お申込みフォームは随時ETGホームページで公開します。

## ETG 展示会スケジュール 2019年度上期



embedded world

[詳細](#)

ニュルンベルグ ドイツ, 26.02. - 28.02.



Automation World

[詳細](#)

ソウル, 韓国, 27.03. - 29.03.



SIMM—Shenzhen International Machinery Manufacturing Industry Exhibition

[詳細](#)

深セン 中国, 28.03. - 31.03.



HANNOVER MESSE

[詳細](#)

ハノーバー, ドイツ, 01.04. - 05.04.



TECHNO-FRONTIER

[詳細](#)

千葉, 日本, 17.04. - 19.04.



IAMD - 北京国際工業自動化展

[詳細](#)

北京, 中国, 08.05. - 10.05.

ETG ブースへの協賛出展社を募集しています。詳細は各展示会案内のページをご覧ください。

## ETG イベント 2019年度



ETG 販促委員会 | 2019 春期

[詳細](#)

フランクフルト, ドイツ, 19.03.



2019 春期欧州 EtherCAT Plug Fest

[詳細](#)

ラーベンスブルク, ドイツ, 14.05. - 15.05.2019



ETG 技術委員会会議 | 2019 春期

[詳細](#)

詳細はETG公式ホームページのイベントページをご覧ください: [www.ethercat.org/events](http://www.ethercat.org/events)

## 新規加入メンバー (前回ニュースレター以降の入会企業です) ※記載はお申込み順です

ETGは新メンバーを歓迎します。たくさんのメンバー企業がETGとともにEtherCAT技術の推進につとめています。

- Foster & Wager Manufacturer's Representative
- Vectory Sensor Systems
- Cencorp Automation Technology
- Guangdong Sumida Automation
- Han's Smart Control Technology
- NTCISOFT
- Hyundai Heavy Industries Holdings
- EcoTronic
- GEMSS Medical Systems
- Fliessler Elektronik
- Beijing Chymotion Control Technology
- OMRON Electronics Iberia
- GTSYSTEM
- Amada Miyachi America
- Endex Automation Technology
- Venture International
- MotionBank
- Vaisala
- Elekta Instrument
- ecocoach
- Knorr-Bremse Fékrenszerek
- AutomationWare
- GUILIN WINDCON
- Pearls of Life
- DeviceRadio
- TOHAN DENSHI KIKI
- GeSIM - Gesellschaft für Silizium-Mikrosysteme
- Daiwa-eletec
- Medineering
- KANTO AIRCRAFT INSTRUMENT
- Isar Aerospace Technologies
- seven dreamers laundroid
- Jabil Circuit Magyarország
- Ultimaker
- Miyagi Nikon Precision
- Robin Radar Systems
- APA
- Korea Railroad Research Institute (KRII)
- PLASOURCE
- LITE-ON ELECTRONICS (GUANGZHOU)
- NK Labs
- DynomerK Controls
- STICHT Technologie
- FURONTEER
- Hammer-IMS
- TOKYO KEIKI
- Osaka University, Graduate School of Engineering Science, Dept. of System Innovation, Adaptive Robotics Laboratory
- JAY Electronique
- KANOMAX JAPAN
- Automation Modules
- Terzo Power Systems
- TNK
- MAKINO MILLING MACHINE
- O.B.System
- Suzhou Linkhou Robot
- DMC
- Middle East Technical University, ATLAS Robotics Research Group (ATLAS Interdisciplinary Robotic Research Laboratory)
- LinkDyn Robotics
- Warlowe
- University of Twente, Techno Centrum voor Onderwijs en Onderzoek (Techno Center for Education and Research) TCO
- ADTEC Technology
- Veeren Electronic Design Solutions (V.E.D.S.)
- Oetiker Schweiz
- Olympus Controls
- Dedicated Systems Australia
- Philip Morris Products
- Beijing NiMotion Control Technology
- CECI TECHNOLOGY
- Interface Design Associates (IDAPL)
- Kangwon National University, College of Engineering, Department of Mechatronics Engineering, Micro-Nano-BioSystems Lab.
- Olympus NDT Canada, a subsidiary of Olympus Scientific Solutions Americas
- Koyo Electronics (Wuxi)
- GEPA
- React AI (trading name React Robotics)
- SoftWear Automation
- BK ELECTRONICS
- FerroAtlántica I+D
- Long Yang Enterprise
- NEXTW Technology
- MEODAT Messtechnik, Ortung und Datenverarbeitung
- Shanghai Zhansheng Intelligent Technology
- Mikrodust
- Kyungpook National University, College of Engineering, School of Mechanical Engineering, Field Robotics Laboratory
- Excelpoint Systems (India)
- Ningbo ZD-Automation
- alpiscan
- Mitutoyo
- Technische Universität Wien (TU Wien), Fakultät für Elektrotechnik und Informationstechnik, Institut für Automatisierungs- und Regelungstechnik (ACIN), Advanced Mechatronic Systems (AMS)
- Mabuchi Motor
- Festo Korea
- Shanghai Golytec Automation
- Ingenieurbüro Lachtrup
- Redcur
- Goyo Electronics
- Shenzhen Farwide Electric
- Motion Tech Automation (MTA)
- AŽD Praha
- Airity Technologies
- WUHAN DBLC SCIENCE & TECHNOLOGY
- Room3327
- Waltham Measurement & Control Technology
- "Stankin-TPO" ("Stankin - Technological Training and Education")
- EVRESIS
- COMPUTER SOFTWARE
- DMDW Service di Davide Di Marco & C.
- Forlinx Embedded Technology
- Exceed Automation
- FUZHOU FU CHANG WECON ELECTRONIC TECHNOLOGY
- Salunda
- Hypersen Technologies
- Chengdu Sino-Tech Smart Energy
- Advanced Manufacturing Technology Development Center MRC
- Zuritronic
- YUSHIN PRECISION EQUIPMENT
- China Wide Prevention Telecom Technology
- Yanfeng Automotive Interior Systems
- Inje University, College of Engineering, Department of Electronic, Telecommunications, Mechanical, and Automotive Engineering
- Bore Automation Tech.
- Allestec
- Pressure Design Hydraulics
- Love Electronics
- National Formosa University, Department of Aeronautical Engineering, Innovative Design and Energy Application Lab. (IDEALab)
- OPCsoft
- Cajo Technologies
- Mondragon Assembly
- Hochschule Landshut, Fakultät Informatik
- Reynolds Group
- Continental Tyre South Africa
- Tianjin Automa Technology
- Panasonic Software Development Center Dalian
- iASYS Technology Solution
- Molex Ireland
- Thermo Fisher Scientific (Bremen)
- Hitachi IE Systems
- HENAN XINZHILIN ELECTROMECHANICAL DEVICE
- TCOS System
- Froude
- Saira Electronics
- Löwenstein Medical
- SMAC
- II-VI
- General Electric Renovables España
- Shenzhen Liwi Automation
- Carnegie Mellon University, The Robotics Institute, Biorobotics Lab
- ZEROSYSTEM
- AITEC
- Selcom Group
- Adamant Namiki Precision Jewel
- Hangzhou ConfirmWare Technology
- EMP Designs
- INSYS MICROELECTRONICS
- Ulyanovsk State University, Research and Information Technology, Scientific Research
- Fontys University of Applied Sciences, School of ICT & Technologies
- Laboratoires Industriels G. Pichot
- Higerman CNC Technology (SZ)
- OPTEX FA
- OpenWorks Engineering
- Université de Versailles Saint-Quentin-en-Yvelines, Laboratoire d'Ingénierie des Systèmes de Versailles (LISV)
- Hangzhou SIASUN Robot & Automation
- Toshiba Infrastructure Systems & Solutions
- Sensor Instruments Entwicklungs- und Vertriebs
- HILSTER Testing Solutions
- Automatisations JRT
- "Gheorghe Asachi" Technical University of Iasi, Faculty of Automatic Control and Computer Engineering, Department of Automatic Control and Applied Informatics
- PULS
- FUNDACIÓN DIOCESANAS - JESÚS OBRERO FUNDACIQA (EGIBIDE)
- Reboocoon Bionics
- Shenzhen Hayhon Equipment Technologies
- Photon Control
- Eredi Bassi Araldo di Bassi R. (kurz Eredi Bassi Araldo)
- Shanghai Koryo Electronics
- The University of Tokyo, Graduate School of Information Science and Technology, Department of Mechano-Informatics, Intelligent Systems and Informatics Laboratory
- Manroland Sheetfed
- GUANGZHOU CORESING ROBOT TECHNOLOGY
- SK hynix
- Inovance Technology Europe
- SAITEL
- PiezoMotor Uppsala
- Arend Prozessautomation
- Bürkert Australia
- Dinkle Enterprise
- SCM Group
- Strategy Automation
- STONE CHILD AUTOTAINMENT
- Dalian Hi-Sensor Technology
- Dave Engineering (DE Design Works)
- Nanjing Solidot Electronic Technology
- ALTINAY Robot Technologies (Altinay Robot Teknolojileri)
- "ITS-Sibir"
- ACTIA Automotive
- Elite Robot
- Indian Institute of Science Interdisciplinary Centre for Energy Research (ICER)
- Institute for Infocomm Research, Robotics & Autonomous Systems [member of the Agency for Science, Technology and Research (A\*STAR)]
- NTB Interstaatliche Hochschule für Technik Buchs, Institut für Ingenieurinformatik
- "Autogenmash"
- Lunghwa University of Science and Technology, College of Engineering, Department of Electronic, Engineering
- Clavis Company – a division of Macnica Inc.
- Mast Global Logistics – a division of Lbrands
- Rocket Lab
- BETAMONT
- swiss-sonic ultraschall
- A. Sturzenegger Elektronik
- Komito Bleu
- Energid Technologies
- KOMOTEK
- E-TEAM di Righini Bruno e C.
- Lunitek
- TROY ENTERPRISE
- Soft Harmony
- Fitz-Thors Engineering

詳細については、ETG公式ホームページのメンバーシップセクションを参照してください: [www.ethercat.org/members](http://www.ethercat.org/members)

\*本ニュースレターは、EtherCAT Technology Groupが発行した英文ニュースレターを抄訳したもので内容に齟齬がある場合には原文が優先します。また法的効力はドイツの法に基づき英語版に帰属します。英語版はこちらをご覧ください: <https://www.ethercat.org>

Disclaimer: We do not take responsibility for the contents of the external links provided within this news. All information within this news is to our best knowledge true and accurate, but provided without guarantee. Under no circumstances will liability be assumed for loss or damage sustained through use of the information provided. The logos and images within this news may not be used for any other purpose than promoting the EtherCAT technology. Content responsibility according to German Law (§ 10 Absatz 3 MDStV): Martin Rostan (Address see below).  
[Contact](#) | [Legal Notice](#) | [Data Privacy Policy](#)